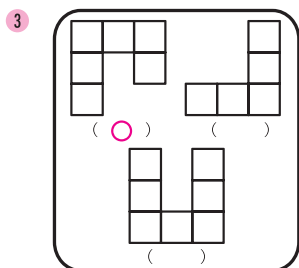
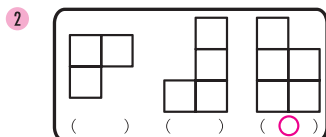
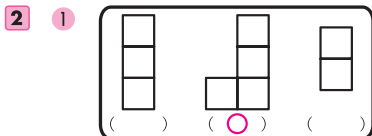


第1回

答え

- 1 ① 13こ ② 23こ



考え方

- 1 想像力を必要とする問題です。見えていないところにも、積み木があることに注意させるとよいでしょう。また、いくつかのブロックに分けて考えるとよいでしょう。
- 2 立体を横・前・上から見たときに、どのように見えるのかを想像して考える問題です。戸惑っている場合は、身近にある立体を、様々な方向から見るという取り組みをした上で、再度、考えてみるとよいでしょう。

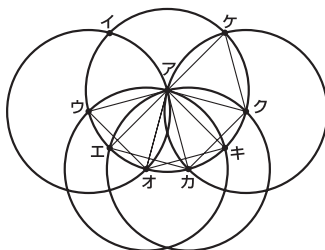
第2回

答え

- 1 ① アキ；24cm, キコ；24cm, アコ；24cm  
② 正三角形
- 2 ① 二等辺三角形 ② 正三角形  
③ 5つ

考え方

- 1 ①で戸惑っている場合は、アイ、イエ、…の順に、1つずつ長さが何cmになるかを確認していくとよいでしょう。
- 2 ① アウとアエの直線は、どちらもアの点を中心とする同じ円の半径だから、2つの辺の長さが等しくなり、二等辺三角形になります。
- ② アイとアウの直線は、アの点を中心とする同じ円の半径なので長さが等しくなります。また、ウアとウイの直線は、ウの点を中心とする同じ円の半径なので、長さが等しくなります。3つの辺の長さが等しいので、正三角形になります。
- ③ 下の図のように、②と同じ正三角形になるのは、5つ（三角形アウオ、三角形アエカ、三角形アオキ、三角形アクケ）あります。



難しい場合は、辺の長さが等しい箇所を順番に確認していくとよいでしょう。5つすべてを見つけることができれば、大いにほめてあげてください。

第3回

答え

- 1 ① 30, 30, 30  
② 200, 200, 200  
③ 150, 150, 150, 150  
④ 500, 500, 500, 500
- 2 ① 6 2  
 8 7
- ② 4 9  
 8 2
- ③ 4 6

考え方

- 1 □にあてはまる数を求める問題です。
- ① 10のかたまりで考えます。  
②と③では、計算結果が両方とも600になることに注目して、③の□が②の□にあてはまる数よりも小さいことに気づけるとよいでしょう。
- 2 どの絵から答えが求まるかを考えなければいけない難しい問題です。絵に入る数がわかったら、絵の近くに数を書くとよいでしょう。
- ① まず、左の筆算から猫に入る数、右の筆算から羊に入る数を求めます。次に、残りの犬と狐に入る数を求めます。
- ② まず、左の筆算から、いちごとぶどうに入る数を求めます。次に、右の筆算から、残りのりんごとみかんに入る数を求めます。
- ③ まず、左の筆算から、ひよこに入る数を求めます。次に、右の筆算から、すずめに入る数を求めます。

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!



Z会の本 🔍



かっこいい小学生になろう